

平成 26 年 6 月 23 日発行

6 月 14 日(土) S.G. Communication Project 企画

S.G. Report

No.1

第 1 回 即興型英語ディベート講座を実施しました!!



《講 師》大阪府立大学 助教 中川 智皓 先生

《実績等》東京大学英語ディベート部を設立

大学生英語ディベート世界大会 ESL 準決勝進出(日本最高記録)

東京大学総長賞 受賞

文部科学省助成事業による即興型英語ディベートを主宰

灘、開成、筑波大学付属駒場等にてセミナーを開催

《指導者》

中川先生、社会人 4 名(九州朝日放送アナウンサー、カリフォルニア州立大学卒元外資系企業勤務経験者、九州大学院生など) 九州大学のディベート部大学生 4 名

当日のスケジュール

6 月 14 日(土)

10:00 スタッフ集合(当日の説明)

10:30 開始、自己紹介、レクチャー(ルール説明、身に付く力等)

10:50 モデルディベート

(スタッフが“本物”的ディベートスピーチを生徒に体験させた)

肯定チーム(3名) / 否定チーム(3名)

ジャッジ(1名) 準備時間(15分)

お題: We should prohibit an actor/actress who used drugs from going back to show business
(薬物使用した芸能人の芸能界復帰を禁止すべきである)

11:10 事前アンケート(第1回目~最終回の効果比較のため)

11:20 ルールに関する質疑応答、チーム分け、モーション発表

11:30 プレバレーション(1R)

11:45 ラウンド(1R) 【お題: We should abolish homework】

12:05 ジャッジ(1R)

12:15 リフレクションシートの記入

12:25 事後アンケート

(第2回への改善に向けて)

男子 19 名、女子 30 名の計
49 名が参加し、A~H の 8 グループに分けて行った。

当日の様子



まずはスタッフ自己紹介



英語で主張・・・難しい！



それぞれが作戦を練ります



分からぬときは質問



ジャッジのアドバイス



英語で論理的に説得します

全員が英語ディベート初体験！最初は不安そうな表情の生徒たちも、中川先生の講義を経て実践に移ると、楽しそうな表情で懸命に話そうとする姿が見られた。ディベート実践後の各ジャッジからのアドバイスに真剣に耳を傾ける生徒たちの姿は、今後の成長を予感させてくれた。

《生徒感想》

私はディベートがどういうものなのかよく分からぬまま参加したが、今回、ディベートについてとてもよく理解することができたし、英語を使うことの難しさも実感できた。モデルディベートを見たとき、すごいなと思ったが、実際に自分がやってみると、どれだけ難しいのか実感できた。私は将来、英語で外国人と話せるようになりたいと思っているので、これからもっともっと積極的な姿勢でがんばっていこうと思います。まずは日ごろの学習で語彙力をつけていく、ディベートではなるべく簡単な英語を使っていくよう意識したいです。最初は参加するか迷っていたけど、本当に参加してよかったです。【TA】

楽しかったです！自分が思ったことを自分が知っている単語や文法を駆使するのはまだ慣れないなくて、とても難しかったです。しかし、これから反論したり、もっと説得力のある発言ができるように頑張ります！【MN】